

令和2年11月6日

日高市長 谷ヶ崎 照 雄 様

日高市行政経営審議会
会長 佐 野 修 一

第6次日高市総合計画前期基本計画（案）について（答申）

令和2年9月29日付け、日政発第197号にて諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

前期基本計画（案）は、市民アンケートなどによる市民意向を踏まえた上で、第5次日高市総合計画と日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略を評価・検証し、現状と課題を捉え、本年6月議会で議決された基本構想で定めた将来都市像の実現に向けた内容となっています。また、市民コメントによる意見聴取、本審議会の審査など十分な手続を経て策定されています。

上記のことから、本審議会としておおむね妥当なものと判断します。

なお、前期基本計画の策定・調整、実施、進行管理について、次に掲げる内容に十分配慮し、まちづくりを推進されますよう要望します。

1. 計画の策定・調整について

- (1) 前期基本計画及びリーディングプロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）と多くの内容が盛り込まれており、構成、表現などは市民にとって分かりやすいよう配慮されたい。
- (2) 前期基本計画における成果指標、リーディングプロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）における重要業績評価指標が設定されたが、再度、妥当性、目標値などについて検討し最終調整されたい。

2. 計画の実施について

- (1) 策定した前期基本計画は、市民・企業・行政が役割分担のもと、協働でまち

づくりを推進するための指針となるものである。大変厳しい財政状況と推察されるが、十分周知を行い理解と協力を得ながら事業を実施されたい。

- (2) 地方創生と人口減少対策としてリーディングプロジェクトが設定されたが、目標が達成されるよう予算・職員配置など、重点化に配慮して取り組まれない。
- (3) 前期基本計画は 26 の施策が設定されたが、今後これを具体化した約 500 の事業を盛り込んだ 3 年間の実施計画が毎年度策定される。費用対効果、必要性、効率性など十分考慮した実施計画を策定し、新しい時代に対応した持続可能なまちづくりに向け、事業を実施されたい。
- (4) 審議過程において出された個別具体的な意見も踏まえた上で、施策の推進を図っていただきたい。

3. 計画の進捗状況の評価について

- (1) 今回の計画で SDG s の概念が導入されたことは、地方創生の実現に資するもので大変評価できる。26 の施策にその取組が設定されたが、評価方法を十分検討し、PDCA サイクルによる行政評価を実施されたい。
- (2) 本市の PDCA サイクルによる行政評価システムは、内部評価と外部評価により事後評価として実施されているが、事業を実施する中で、構成・指標の考え方などさらに充実を検討されたい。

4. 附帯意見

- (1) 市民が市の情報にアクセスしやすくするためにも、図表や各数値目標における現状値については出典元の表記をお願いしたい。また、専門的用語については、解説を付記されたい。